

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3.4	1	必修
担当教員			
横田 香世			
土1、2、3、4			
添付ファイル			

科目の概要	チーム医療論の講義では、社会情勢とチーム医療の変遷を基に、異種のメディカルスタッフ及び保健・福祉職が連携・協働する必要性を概論と各論で講義する。実習での学びを振り返り、事例をもとに学生同士でのディスカッションを行い、チーム医療の必要性の理解を深める。 キーワードは「コミュニケーション」「情報の共有化」「チームマネジメント」。
授業の内容	<p>第1回 「看護管理」テキスト第2章 チーム医療の歴史および概念、意義 ・チーム医療の歴史および概念、意義について説明できる。</p> <p>第2回 医療専門職者に求められる役割とチーム医療を促進するためのスキル ・チーム医療をめぐる動向と医療専門職者に求められる役割を説明できる。 ・チーム医療を促進するためのコアスキルについてまとめ、説明できる。</p> <p>第3回 入退院支援における看護師の役割 ・入院中や外来通院中の患者のQOLの維持向上、患者の人生を尊重した入退院支援看護師のチーム医療の中の役割について理解し、説明できる。 ・看護に求められる調整能力とチームマネジメントについて説明できる。</p> <p>第4回 病院から在宅へのスムーズな移行とチーム医療による支援 ・入院時から退院後の生活について理解し、「その人が望む生活」への支援を医療チームで考えることができる</p> <p>第5回 効果的なチーム形成2 1 ・「コミュニケーション」「情報の共有化」「チームマネジメント」について理解できる。 ・チーム医療に必要なスキルを用いて効果的なチーム形成についてグループディスカッションを行い、発表する。</p> <p>第6回 効果的なチーム形成1 2 ・「コミュニケーション」「情報の共有化」「チームマネジメント」について理解できる。 ・チーム医療に必要なスキルを用いて効果的なチーム形成についてグループディスカッションを行い、発表する。</p> <p>第7回 チーム連携・協働、相互支援1 1 ・チーム医療における連携・協働および相互支援の必要性を説明できる。 ・チーム医療に関連した事例の個別分析およびグループディスカッションによる問題点の明確化、多職種で対応策について発表する。</p> <p>第8回 チーム連携・協働、相互支援1 2 ・チーム医療における連携・協働および相互支援の必要性を説明できる。 ・チーム医療に関連した事例の個別分析およびグループディスカッションによる問題点の明確化、多職種で対応策について発表する。</p> <p>第9回 定期試験</p>
学習到達目標	院内および地域におけるチーム医療の必要性を理解し説明できる。 チーム医療の中における他の専門職の役割を理解し、看護職者の役割について説明できる。 チーム医療の連携・協働の実際について理解し説明できる。
授業の方法	<p>【授業形態】 講義・グループワーク・発表</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 講義内容についてテキストや資料を用いて事前学習を行い、課題について調べて主体的に学修に参加する。</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】 遠隔講義・質疑応答</p> <p>【その他特記事項】</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 授業への出席・参加状況、課題レポート、グループワーク、発表</p> <p>【割合】 課題レポート80% グループ発表20%</p>
教科書・テキスト	医学書院 看護の統合と実践 [1] 「看護管理」
参考書	
授業時間外の学修について（事前・	シラバスにある講義内容に関連した内容について事前学習を行い、自らの意見をもって出席すること。

事後学習について)	
履修上の留意事項	携帯は事業中はマナーモードもしくはOFFにすること。遅刻、欠席をしないこと。
オフィスアワー	講義日 14:30~17:00
課題に対するフィードバックの方法	課題について調べレポートを提出する。レポート内容についてコメントをし、返却する。また、質問に対して各授業毎に答える。
実務経験	看護師（慢性疾患看護専門看護師） 看護管理者
その他	